カワムラサイクル

車いす総合カタログ Vol.16-2

WHEELCHAIR CATALOG

ISO認証取得

00898-2004-AQ-KOB-RvA
00898-2004-AE-KOB-RvA

「参考価格」は弊社が参考のために表示する価格です。販売価格は販売業者様が自主的に決定されるものです。

SGマーク
認定工場

Corporate Social Responsibility

我々は、一層の品質向上に努め、人と環境にやさしい福祉用具の開発に取り組んでまいります。
また、地球環境を守る活動にも積極的に取り組んでまいります。

SGマーク 認定工場

SGマークは、Safety Goods（安全な商品）の略号で、一般財団法人製品安全協会が認定基準を定め、この基準に適合していると認められた製品にのみ表示されるマークです。なお、SGマークの貼付された製品は、万が一の製品の欠陥に備えて人身事故に対する対人賠償責任保険が付いています。カワムラサイクルは、1999年7月にSGマークの工場認定を取得いたしました。

JIS（日本工業規格）認定

高齢化社会の進展に伴う福祉用具の需要の増加により、国民生活の安全・安心の確保等の観点から、第三者認証制度がスタートいたしました。
カワムラサイクルは、2010年3月、JISマーク表示制度の認証機関である一般財団法人電気安全環境研究所（JET）から、手動車いすの製品規格、製品試験、製造工場における品質管理実施状況等の審査を経て、福祉用具JIS認証を取得いたしました。

JIS T9201:2006
JIS JET 福祉用具 JE0509008

JISマーク対象機種（2015年４月現在）

［自走用　取得機種］
KR801N・KR801Nソフト・KA202・KA202SB
KA102・KA102SB・KZ20・KZM22〈EL除く〉

［介助用　取得機種］
KA302SB・KA402SB・KZ16・KZM16〈EL除く〉

※オプションを取り付けた場合は、JISマーク貼り付けができない場合があります。

品質マネジメントシステム　環境マネジメントシステム

ISO9001 & ISO 14001統合認証取得

00898-2004-AQ-KOB-RvA / 00898-2004-AE-KOB-RvA

・本社
・神戸工場・神戸第二工場・いなみの工場
・本店サービスセンター

MANAGEMENT SYSTEM CERTIFICATION DNV·GL ISO 9001 = ISO 14001 RvA MGMT. SYS. C 024

＜品質・環境方針＞

- 汚染の予防に努め、マネジメントプログラムの継続的改善を図る。
- 法規制、当社が同意するその他の要求事項を順守する。
- 当社と係わるすべての利害関係者との良好な関係を築く。
- 安全で快適な福祉用具の普及により社会的使命を果たす。

カワムラサイクルは、2003年12月、ISO9001ならびにISO14001を同時に認証取得いたしました。

環境にやさしい車いす

- ▶環境汚染防止
- ▶環境有害物質の除去
- ▶耐久性の向上
- ▶資源回収協力
- ▶廃棄物の削減

※環境保護対応のため、製品の仕様を変更する場合があります。
予めご了承ください。

環境方針

- ●汚染の防止に努め、マネジメントプログラムの継続的改善を図ります。
- ●安全で快適な福祉用具の普及により社会的使命をはたします。
- ●環境改善3Rを推進します。

会社概要

社　　名 ■ 株式会社 カワムラサイクル
代 表 者 ■ 代表取締役社長　飯島 裕治
設　　立 ■ 平成7年8月31日
事業内容 ■ 1. 介護用品及び介護機器、福祉機器、医療機器の製造販売並びに輸出入
2. 車いす、介護用品及び福祉機器の洗浄・消毒
3. 車いす、介護用品、その他福祉機器のリサイクル

本社所在地 ■ 〒651-2411　兵庫県神戸市西区上新地3丁目9番1
TEL.078(969)2800(代)　FAX.078(969)2811(代)

本　社

Head Office

神戸工場／本店サービスセンター

Kobe Factory/Kobe Service Center

神戸第二工場

Kobe Second Factory

いなみの工場

Inamino Factory

■サービスセンター

○ 仙台サービスセンター	〒982-0023	宮城県仙台市太白区鹿野3丁目1番1 リエス鹿野1階	TEL.022(746)9540　FAX.022(746)9541
○ 東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷1丁目8番3	TEL.03(3874)3511　FAX.03(3874)3514
○ 横浜サービスセンター	〒220-0073	神奈川県横浜市西区岡野2丁目12番9	TEL.045(290)9585　FAX.045(290)9586
○ 名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町1丁目3番11	TEL.0568(52)4800　FAX.0568(52)4802
○ 大阪サービスセンター	〒553-0004	大阪府大阪市福島区玉川1丁目3番18 マックス大阪ビル5階	TEL.06(6479)2055　FAX.06(6447)1911
○ 本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地3丁目9番1	TEL.078(969)2820　FAX.078(969)2822
○ 福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡県福岡市西区生の松原1丁目18番3	TEL.092(882)4722　FAX.092(882)4723

■工　場

○ 神　戸　工　場	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地3丁目9番1
○ 神戸第二工場	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地3丁目7番3
○ いなみの工場	〒675-1116	兵庫県加古郡稲美町蛸草1番13

KAWAMURA

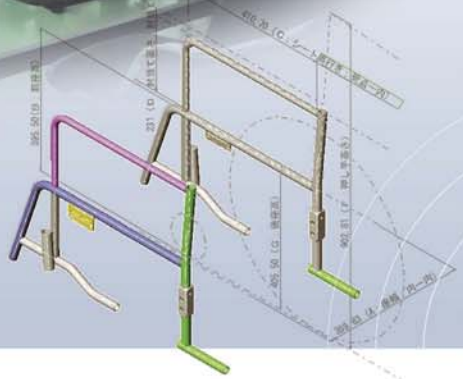
●ホームページ http://www.kawamura-cycle.co.jp/

安全・安心への取り組み

カワムラサイクルは、安全・安心を目指し、徹底した品質管理の下、
企画から生産まで一貫した“ものづくり”を行います。

企画

開発



福祉用具は日用生活用品として「使い勝手」が大切であり、マーケットニーズを的確に製品企画に反映させる必要があります。当社ではスピーディーなサンプル生産とモニタリングを繰り返し、よりよい製品を生み出す開発体制を整えています。このような開発体制の下、安全性を確保しながらも、新しい技術を採用して付加価値の高い商品開発を目指しています。

品質管理 Quality Control

材料・部品の品質

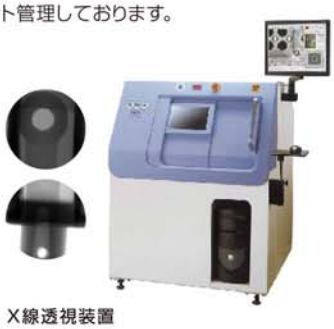
金属・布・樹脂の材質分析を行い、環境と品質を確保します。

受入検査 材料仕入れの段階で規格外のもの、指定仕様以外のものを受け入れないよう厳重に検査しております。

履歴管理 受入から組立、出荷までロット管理しております。

金属成分分析機

X線分析機



X線透視装置

硬度計

万能試験機

塩水噴霧試験機

安全性試験

JIS規格（JIS T9201:2006）に基づいた社内試験設備や第三者試験機関にて「走行耐久性試験」や「車いす落下試験」などを日常的に実施し、安全性・耐久性の維持向上を図っております。JIS規格にない形式の車いすについても社内基準を設け安全性試験を行い、安全性の確認とここで得られた結果に基づき、仕様見直しや新商品の開発に日々活用しております。

当社社内試験設備

Total Planning

生産

受入・倉庫 → 金属加工 → 溶接 → 芯取り → 塗装 → フレーム組立 → 縫製 → 部品組立 → 完成品組立 → 梱包 → 出荷

検査

カワムラサイクルは、車いす等の福祉用具の企画・開発・設計及び小ロット生産と出荷検査を行っています。
量産は、生産子会社である漳州立泰医療康復器材有限公司で行っています。

- 漳州立泰医療康復器材有限公司 [中国 福建省]
- いなみの工場 [兵庫県加古郡稲美町]
- 神戸工場 [神戸市西区]
- 神戸第二工場 [神戸市西区]

1台1台ていねいな出荷検査

各工場で全数のていねいな出荷検査と記録を行っております。

いなみの工場

神戸工場

神戸第二工場

走行耐久性試験

車いす落下試験

キャスタ耐荷重試験

静的安定性試験

車いす選びの 目安と取扱い

ポイント

～ 車いすをお選びの際の主なチェックポイント ～

“身体”に合った車いす選び

1 シート幅（座幅）

お尻の幅プラス
3～5cmくらいが目安。
（介助者の手が入る程度）

2 バックサポート（背もたれ）

肩甲骨の下まであることが目安。

3 シート奥行き

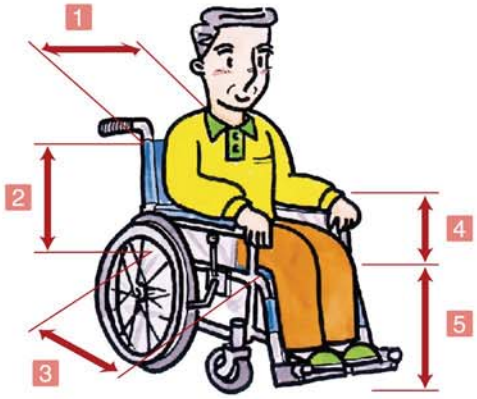
背もたれにお尻をつけて座って、
ひざの内側が少し出るくらいが良い。

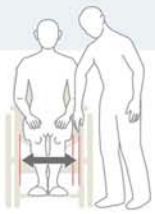
4 アームサポート（肘掛け）

肘を無理なく曲げて
乗せられるくらい。

5 シートの高さ（座面高さ）

膝下の高さを合わせる。
足がぶらつかないように。

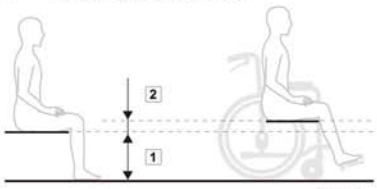




シート幅選びの目安

座った状態で、介助者の
手が入る程度が目安です。

シート高さ（採寸の目安）



1 ご利用者の（膝下からかかと）まで。
＋
2 5～8cm、（足でこぐ場合は、0～2cm）

★お選びの際は
（シートの高さ、幅、奥行き、アームサポートやバックサポートの高さ）がチェックポイントとなります。

お気軽にご相談ください。

車いすを使うと、家の中の移動もスムーズで、外出も出来るようになり、暮らしが大きく広がります。寝たきりにならず、周りの人達と一緒に生活するために、車いすを積極的にご活用ください。

安全に長くご利用いただくために

ご使用に当たりましては、くれぐれも次の点にご注意くださいますようお願い申し上げます。

❶ 取扱説明書を熟読し、ご理解のうえ、正しくご使用ください。 ❷ 移乗の際は、確実に転倒防止の措置を実施してください。
❸ 移乗や駐停車の際は、必ず駐車用ブレーキを掛けてください。❹ フットプレートに足を乗せる時は、必ず片足ずつ乗せてください。
❺ ご使用の前には必ず安全点検を行ってください。異常が見つかった場合は、直ちにご使用を中止してください。

LESSON 移乗

ポイント

車いすに乗る方を介護の方がベッドから移す方法です。
双方にとって安全で負担の少ないことが重要です。
「いち、にの、さん」と声をかけながら、おたがいに協力し合いましょう。

介護の方が片足を相手の膝の間に差し込んで、腰を支えながら立ち上がらせます。

介護の方の膝で相手の膝を支えながら、車いすの方へお尻を向ける。

ゆっくりと腰を下ろしてもらう。
「いち、にの、さん」と声をかけながら、おたがいに協力し合いましょう。

注意事項 ★車いすに座る前にはまず駐車用ブレーキがかかっていることを確認しましょう。

弊社は全ての製品についての使用方法や取扱い上の注意をまとめた取扱説明書を毎年、定期的に更新してホームページで公開しております。

ホームページ → *http://www.kawamura-cycle.co.jp/*

LESSON
外出

車いすは歩行者として取り扱われます。歩行者としての交通ルールを守りましょう。

「自転車及び歩行者専用」、「歩行者専用」のマークのある歩行者専用道路も通ることができます。

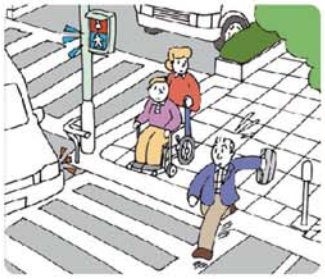
信号機のある場所では、「青」が点滅中に横断するのは危険です。必ず次の「青」を待ちましょう。

注意事項　※ご使用になる前に、取扱説明書をよくお読みください。

★タイヤの空気は十分入っているか確認しましょう。
★いきなり公道に出るのは危険です。屋内や庭など安全な場所で、練習しましょう。
★車道はできるだけ通らず、歩道や十分な幅のある路側帯を通りましょう。

ポイント

車いすの安全な使い方は、“ゆっくり確実に”が基本です。焦らずゆとりをもった横断、走行を心掛けましょう。



坂道

シートベルトを必ずご利用ください。

＜上り坂＞　押す人は体を少し前にたおして、押し戻されないよう、一歩づつしっかりと押します。

＜下り坂＞　坂が急なときはブレーキを軽く使いながら、後向きに一歩づつ下ります。

注意

下り坂は加速がつき危険です。いつでもブレーキがかけられるように、慎重に乗りましょう。

段差のある場所

ティッピングレバー

＜上るとき＞

ティッピングレバーを踏んでキャスタを上げて進み、続いて車輪を押上げます。

＜下るとき＞

後向きでまず車輪をおろし、ティッピングレバーを踏んでキャスタを上げたまま後進し、ゆっくりとおろします。

段差のある場所 ＜電車の乗降＞

＜乗るとき＞

ティッピングレバーを踏んでキャスタを上げ電車にキャスタを乗せ、次に車輪を持ち上げて直進します。ホームと電車の間は、大きな車輪でも、はさまることがありますのでご注意ください。電車の中では柱につかまると良いでしょう。

＜降りるとき＞

後向きに進みます。車輪を上げてホームにおろし、ティッピングレバーを踏んでキャスタを上げて後進します。

階段

基本的には二人以上で支えます。

（一段ごとにタイミングをとってください。）

○ 一人は下からフット・レッグサポートのパイプを。
※（着脱タイプ等の場合は本体フレーム）

○ もう一人は上から手押しハンドルを持ちます。
※（背折れタイプ等の場合は本体フレーム）

注意 ＜階段の場合＞

アームサポートやフット・レッグサポートが着脱式もしくは跳ね上げ式の車いすは、人を乗せたままその部分を持って持ち上げないでください。万一外れたり破損した場合、大変危険です。

注意

＜リクライニング車の場合＞

リクライニング車いすの場合は、後に転倒しにくい様に設計されています。

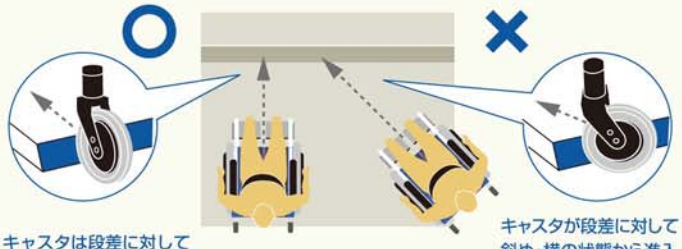
手押しハンドルとティッピングレバーだけで持ち上げますと、車体に負荷がかかり破損の原因になります。

段差を乗り越える際は、（車体前方）を持ち上げてください。

注意

発進するときや段差を乗越えるときは、キャスタが真っ直ぐになっていることを確認して走行してください。
斜めに進入したり、キャスタが斜めになった状態で発進するとキャスタの破損やキャスタからタイヤが外れる原因になったり、事故の原因となる恐れがあり大変危険です。

＜発進するとき・段差を乗越えるとき＞



キャスタは段差に対して真っ直ぐ進入してください。

キャスタが段差に対して斜め・横の状態から進入しないでください。

車いす各部の 名称と解説

各部名称：JIS表記（）内は弊社表記

基本フレーム

●車いすの骨組みを構成している部材。
○アルミ製、スチール製、チタン製、ステンレス製等があります。

※安全確保のため、一部に表示以外の材質を使用している場合があります。

1 手押しハンドル（押手）

●介助者が車いすを移動・操作する時に握る部分。

2 背折れ金具

背折れ式

●ワンタッチ操作で軽く（背部）を折りたためます。

※車いすがコンパクトに折りたため、自動車のトランクなどへ収納しやすくなります。

3 バックサポート（背シート）

●利用者の背部がよりかかるところです。
○調整なしシートや背部の張り調整が可能な適合調整シートがあります。

調整なしシート

適合調整シート

左右独立適合調整シート

4 座シート（シート）

●座面のこと。

○地面からの高さが低いものを低床式といいます。
○調整が可能な適合調整シートもあります。

※クッションをのせて使うと座り心地が良くなります。
※環境に配慮したエコシートもあります。
※通気性の良いメッシュタイプもあります。

5 キャスタ（前輪）

●サイズ：4インチ～7インチ、ニューソフトやソフト（ノーパンク）等があります。
○サスペンション付もご用意しております。

※ご用意できるサイズはタイプによって異なります。

＜パッキン式＞

ニューソフト　ソフト

＜ナット固定式＞

ニューソフト

＜ベアリング式＞

ニューソフト

＜サスペンション付＞

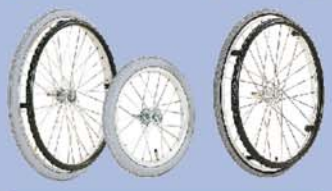
ABF（パッキン式）　ABF（ベアリング式）

6 車輪（後輪）

●サイズ：8インチ～24インチ、エアタイヤ仕様・ノーパンクタイヤ仕様があります。

※ご用意できるサイズはタイプによって異なります。

＜エアタイヤ＞　エアタイヤ（軽量）



＜ノーパンクタイヤ＞

ソフトタイヤ　ハイポリマータイヤ　ソリッドタイヤ

●エアタイヤ仕様

タイヤ＆チューブで構成されており、空気補充が必要です。クッション性は最良です。

●ノーパンクタイヤ仕様　＜ソフトタイヤ＞

タイヤ＆ポリウレタン製パンクレスチューブで構成されており、ひび割れや変色が起こりにくく、耐久性、静止性に優れています。

＜ハイポリマータイヤ＞

空気を含んだポリウレタンを充填して成型。クッション性が高く、屋外でも使用できます。

＜ソリッドタイヤ＞

転がり抵抗が小さく、室内の平らな床面に適しています。

【クッション性の比較】・・・・・▶

最良 ← エアタイヤ ・ エアタイヤ（軽量） ・ ソフトタイヤ ・ ハイポリマータイヤ ・ ソリッドタイヤ → 良好

7 ハンドリム

●ここに手をかけて車輪を回し、車いすを操作します。

＜樹脂製＞

波型・黒

＜ステンレス製＞

ノブ玉付　ビニールコーティング黒　ゴム巻

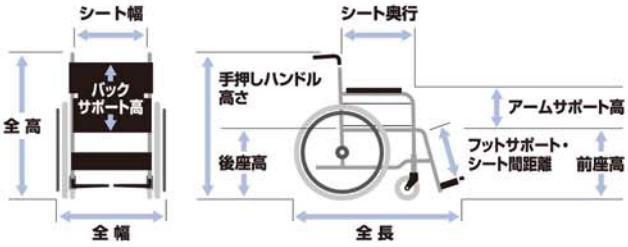
8 ティッピングレバー

●テコの原理で、このレバーを踏むと前輪が浮き上がり段差昇降が容易になります。

ティッピングゴム付

※転倒防止バーを取り付けるタイプもあります。

フレーム寸法名称



9 制動用ブレーキ（介助用ブレーキ）

●介助者が、走行中に速度を調節するためのブレーキ。
○バンド式、ドラム式、ディスクブレーキ式、駐車ブレーキ連動式等あります。

＜バンド式＞
車輪軸に取り付けたブレーキ。長い坂道などで安定した制動力を発揮します。

＜ディスクブレーキ式＞
片手レバー操作で両輪制動。油圧式で、軽い操作でしっかりとした制動力を発揮します。

10 駐車用ブレーキ（駐車ブレーキ）

●停止中に走りださないためのもの。駐車時に使用します。

ミニ駐車ブレーキ　カバー付　カバーなし　エッグストップ　ミニエッグ

＜足踏みブレーキ＞

※介助者が足で操作します。

11 シートベルト

●車いすからずれ落ちないよう体を固定するベルトです。

面ファスナー式

12 サイドガード（側板）

●スカートガードともいい、衣服等が外に落ちないようガードします。

13 アームサポート（肘掛け）

●肘・腕を乗せる部分。　○固定式、着脱式、跳ね上げ式等があります。

※机・テーブル等に納まりやすい形状のデスク型もあります。

固定式

着脱式

跳ね上げ式

落し込み式

高さ調整式

デスク型

14 フット・レッグサポート（脚部）

●足を支持する装置一式。　○左右に開くものを「スイングアウト式」といいます。
○角度が調整できるものを「エレベーティング式」といいます。

※エレベーティング＆スイングイン・アウト式もあります。

固定式

スイングアウト式

エレベーティング式

スイングイン・アウト式

エレベーティング＆スイングアウト式

15 フットサポート（ステップセット）

●足をのせる部分。

側方跳ね上げ式（標準式）

跳ね上げ式（前後式）

板位置・角度調整式

16 レッグサポート（足ベルト）

●足が後ろに落ちないように支えます。

ノーマル

セパレート
（面ファスナー固定式）

ヒールループ

製品 INDEX

タイプ

フレーム（主材）

掲載シリーズ

	015		025		033		045		049		053		063	
	標準		軽量		モジュール		室内用（六輪車）		忘れ騎士2（自動ブレーキシステム）		リクライニング		子供用	
	アルミスチール TYPE		アルミ TYPE		アルミ TYPE		アルミ TYPE		アルミ TYPE		アルミスチール TYPE		アルミ TYPE	
シリーズ	シリーズ	ページ	シリーズ	ページ	シリーズ	ページ	シリーズ	ページ	シリーズ	ページ	シリーズ	ページ	シリーズ	ページ
KA102	KA102	15・16	ふわりず	25・26	BM	33・34	KAK	45	WDS2	49～	RR40	53	KAC	63
KA202	KA202	〃	BML	27・28	KM	35・36	KAK-LO	46			RR50	54	RV	65・66
KA302	KA302	〃	AYL	29・30	KZ	37・38					RR60・70	55	PC・PW	67
KA402	KA402	〃	KA800L	31・32	KZM	39・40					KRT	56	Pit	68
KR801N	KR801N	17・18			KA800	41・42					AYPF	57		
KV	KV	19			AYO	43・44					クリオネット	58		
AYG	AYG	20									KX	59		
WAVIT	WAVIT	21・22									KXL	60		
	WAVIT+	23・24									KPF	61		
室内向							室内向							
ぴったりフィット											ぴったりフィット			
ティルト											ティルト		ティルト	
フルリクライニング											フルリクライニング		フルリクライニング	
リクライニング											リクライニング		リクライニング	
姿勢保持											姿勢保持		姿勢保持	
特記事項 新製品	新製品		新製品										新製品	
バリューセット	バリューセット										バリューセット			
JISマーク取得機種	JISマーク取得機種				JISマーク取得機種									
スペック比較表 モジュール組合せ表			P146 モジュール組合せ表		P143～ モジュール組合せ表						P146 モジュール組合せ表			
機能比較	機能比較 P127～		機能比較		機能比較 P129～						機能比較 P131～		機能比較 P133～	
寸法比較	寸法比較 P135～		寸法比較		寸法比較 P137～						寸法比較 P141～			

069 旅ぐるま（簡易車いす）
アルミ TYPE

ページ	シリーズ	ページ
	KA4-N	69
	KA6	70

071 歩行車いす
アルミ TYPE

ページ	シリーズ	ページ
	AY18	71
	AY12	72

073 電動車
カート/車いす電動ユニット付 TYPE

ページ	シリーズ	ページ
	KE45・43	73
	EMC	74
	JWX-1	75・76
	JOY X	77・78
	AW	79

081 シャワー用車いす&入浴関連
アルミ ステンレス TYPE

ページ	シリーズ	ページ
	KS2	81
	KS3	〃
	KS4	82
	KS7	〃
	KS10	83
	KSC-1・2	84
	シャワーベンチ	〃
	KS11-PF	85
	KS12	86
	ぴったりフィット	

087 オーダーシステム

ページ	シリーズ	ページ
	2週間オーダー	87~
	フルオーダー	93~

097 歩行訓練 歩行補助具
アルミ スチール TYPE

ページ	シリーズ	ページ
	歩行車 歩行器	97~
	KW40・41	97
	KW20	98
	KW	99・100
	シルバーカー	101・102
	介護予防用品	103~
	トレーニング機器	103・104
	杖	〃

新製品

105 医療福祉 介護支援

ページ	シリーズ	ページ
	ストレッチャー	105~
	KM-S	105・106
	快適生活用品	107~
	スロープ	107
	手すり	108
	ポータブルトイレ	109・110

新製品

111 オプション&関連パーツ

ページ		ページ
	オプション	111~
	関連パーツ	123~

機能比較 ・・・・・► P133~

寸法比較 ・・・・・► P141~

車いす機能

赤枠基本仕様

※車種別掲載ページのアイコン表記はいたしません。

バックサポート（背部）

シート

○適合調整シート

ご利用の方の身体に合わせてシートの張り調整ができます。

＜面ファスナー調整式＞

○シートクッション類

主に適合調整シート仕様車と組合せて使用します。姿勢保持力と体の安定を図ります。

シートベルト

車いすからのズレ落ちを防ぎます。

アームサポート（肘掛け）

フット・レッグサポート（脚部）

フットプレートは標準
＜側方跳ね上げ式＞

キャスタ（前輪）

車輪（後輪）

クッション性最良の空気入り仕様、クッション性を維持し、パンクの心配がないポリウレタン製（チューブレス）タイヤ仕様などあります。

モジュール

ご利用に合わせた調整・調節が可能です。

介助用ブレーキシステム／駐車ブレーキ（連動）システム／駐車用ブレーキ

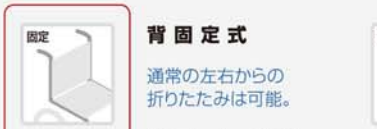
アイコン解説

形式

自走用（介助兼用）
自走用だが介助機能装備車用としての機能付。

自走用
自走専用。介助用ブレーキなどの装備が無い車いす。介助用としての機能ナシ。

介助用
介助専用。
自走はできない。



シート幅選択 （シート幅）が選べる機種
ご注文時にご指定いただけます。

カラー選択

（シートカラー／フレームカラー）が選べる機種
ご注文時にご指定いただけます。
※数字は各カラー数

ぴったりフィット

ティルトとリクライニング機能一体型。"倒す·起こす"の動作を繰り返しても、お尻がずれにくく安定した座位が保てます。

ティルト

姿勢を維持したまま、全体として角度が変えられ座圧を変更することができます。

リクライニング

座面は維持したまま、背部のみ独立して角度が変えられます。

フルリクライニング

座面は維持したまま、（背部·脚部）の角度が変えられます。

※背部·脚部：（独立型）（連動型）2タイプ

姿勢保持

（背·座）適合調整シート

背中とお尻の形状に合わせて、横方向の張り調整ができます。
背部への圧迫の軽減を図ります。

姿勢保持

左右独立適合調整シート

左右バランスを変えられます。
背中の形状に合わせて、横方向の張り調整ができます。
背部への圧迫の軽減を図ります。
（体幹支持パッド装着式）

前ズレ防止

アンカーパッド

座骨の前ズレを防ぐ形状。
クッションの下に設置使用します。

※面ファスナー調整式

姿勢保持

体幹支持パッド

左右独立適合調整シートに取り付け使用します。
体の"横倒れ"を抑えることができます。

※面ファスナー調整式

落し込み式

座面まで下げることができます。
サイドからの移乗をスムーズに行えます。

高さ調節式

段階的な調節ができます。

着脱式

取り付け·取り外しができます。

デスク型

机·テーブルなどに納まりやすい形状。

エレベーティング

脚部角度が調節できます。
膝を曲げられない方に適しています。

エレベーティング & スイングアウト

脚部角度が調節できます。
また、脚部を（開く）こともできます。

エレベーティング & スイングイン·アウト

脚部角度が調節できます。
また、脚部の（開·閉）ができます。

アブソレックスキャスタ（サスペンション付）

車軸にサスペンションを内蔵しています。
衝撃吸収力に優れています。

ソフトタイヤ（軽量）（ノーパンク）

（タイヤ&ポリウレタン製 チューブレス）

ハイポリマータイヤ（ノーパンク）

（一体成型ポリウレタン製）

ソリッドタイヤ（ノーパンク）

（一体成型ゴム製）

シート奥行調節

ご利用者に合わせ座シート奥行調節ができます。

（各部の調整について）

※調整については専門業者に作業をお願いしてください。
※調整の際は、ネジがしっかり締まっているか、ご確認ください。
※1ヶ月に1回、定期的な点検を行ってください。

駐車ブレーキ連動式

駐車ブレーキが連動して作動する簡易型介助用ブレーキです。

押付式

簡易車いす等キャスタタイプ車輪に使用。

足踏みブレーキ

足で踏むことにより駐車用ブレーキをかけることができます。

その他

転倒防止バー

介助される方も安心。
後ろに倒れるのを防ぎます。

※着脱式、キャスタなし·キャスタ付があります。

New series
新商品紹介

ニューモデル・・・

ウェイビットプラス
WAVIT+
"Next generation type" Wheelchair

WAP22-40(42)A
車輪 22インチ：自走用（介助兼用）

次世代型標準車いす
WAVIT ウェイビット に新しい仲間が登場しました

～つまむレバーから握るレバーへ～

（従来の指で操作するレバーと違い、手全体を使った操作に
することで力の弱い方でも利用しやすいレバーになりました。）

跳ね上げ操作レバー

フット・レッグサポート操作レバー

掲載 P23・24 …>

New series
新商品紹介

ふわりす(KF)

"light weight" Wheelchair

KF22-40SB
車輪 22インチ：自走用（介助兼用）

KF16-40SB
車輪 16インチ：介助用

カワムラサイクル史上最軽量車いす登場

9.6kg
自走用（介助兼用）

8.9kg
介助用

ふわりす

女性や力の弱い方におすすめ、持ち運びもラクラク
コンパクトなので取り回しラクラク

掲載 P25・26 …>